

祝

Yaita vol.1190 広報やいた 2026

CONTENTS 目次

- 2 特集 みんなで祝う矢板の二十歳
- 10 応援大使・ヤイタゴハン ほか
- 12 ヤコウゴハン・図書館へGO! ほか
- 16 ニュース&トピックス
- 20 市からのお知らせ
- 28 ゆかりびと・編集後記

COVER 表紙の写真



表紙は、二十歳のつどいでけん玉チャレンジに挑戦する皆さんをカラーージュしたものです。成功しても笑顔、失敗しても笑顔。けん玉が創り出す皆さんの笑顔につられて、こちらもつい笑顔になってしまう瞬間でした。やいた、二十歳、おめでとう！



POPULATION 人口 (1月1日現在)

29,661 人 (△30)	出生	11 人
男 14,816 人 (△15)	死亡	32 人
女 14,845 人 (△15)	転入	44 人
13,352 世帯 (△10)	転出	53 人
() 内は 12 月 1 日との比較	※住民基本台帳をもとに算出	
△は減		

みんなで祝う

矢板市二十歳のつどいのコンセプトは、地域みんなでお祝いすること。中高生ボランティアや地域の皆さん、市内企業の方々などにご協力いただき、式典の準備や SNS 発信、関連イベントなどを開催しました。多世代がつながり、矢板市が一つになって祝福した令和 8 年の二十歳の門出をご紹介します。

矢板の二十歳



令和8年二十歳のつどい



1月11日（日）、文化スポーツ複合施設で開催された二十歳のつどいには、275人の二十歳のほか、恩師や保護者、たくさんの地域の方なども参加し、総勢500人が一堂に会しました。

司会／
フリーアナウンサー 藤田 真奈さん
（やいた応援大使）

協賛企業（順不同）／
（株）フィデス・東色ビグメント（株）・HCCソフト（株）・（有）阿部石材店・矢板市商工会・Qtrek シロタ・（株）トーセン・東陽機器工業（株）



式典後にはクイズイベントを開催。二十歳に関する問題や、中学校時代を振り返る恩師からの出題など15問が出題され、豪華賞品をかけて盛り上がりました。中高生ボランティアや恩師からの質問コーナーもあり、二十歳の皆さんから、「今だから思ういろいろ」を聞き出しました。

中高生の頃を振り返って、当時の自分、今の中高生に伝えたいことはありますか？

中高生ボランティア一同

- ・たくさんの人に感謝して、親にもちゃんと「ありがとう」を。
- ・家族も友達も大切に。思い出は一生残る。
- ・勉強も大事だけど、中高生でしかできないことも全力で。
- ・視野を広く持って、今できる努力をコツコツと。
- ・運動はしておいて損なし。
- ・周りに振り回されすぎず、自分のペースで。
- ・どうにでもなるから、肩の力を抜いて、楽しくいこう。
- ・本を読んで、少しずつ知識を増やそう。

どんな大人になりたいですか？

元矢板中 築瀬校長先生



- ・母のような思いやりがあって感謝を忘れない大人。
- ・対話を大切にして、周り向き合える大人になりたい。
- ・楽しい気持ちを忘れず、自信を持って生きていきたい。
- ・後悔ないように、自分のやりたいことに正直でいたい。
- ・いつか、温かくて幸せな家庭を築きたい。
- ・楽しく英語を教えられる大人になりたい。
- ・「ありがとう」と「ごめんなさい」を素直に言える大人。
- ・人の想いを未来に残す仕事がしたい。

中高生からお祝いメッセージ



矢東附中3年
池田 彩那さん

矢板市に関わる一員として、皆さんの二十歳と一緒に祝いしたくてボランティアに参加しました。皆さんの素敵な笑顔がたくさん見ることができて、参加して良かったです。



矢東高1年
金田 みなみさん

皆さんが懐かしい友人と、久しぶりに再会している姿を見て、4年後、二十歳を迎える日が楽しみになりました。いつでもふるさと矢板があることを忘れないでください。



やいた、二十歳、おめでとう！！



みんなでけん玉チャレンジ



今年、矢板市の二十歳へ送られた記念品は、けん玉。写真撮影では、全員でけん玉チャレンジを開催しました。大切なことは、成功する事ではなく、みんなで同じ挑戦をし、その時間を共有すること。けん玉が創り出すみんなの笑顔、最高！



けん玉～！
できなくても
っいやっちゃう～



祝

二十歳のつどいの様子や
お祝いメッセージ動画は
こちらから



Instagram

地域からお祝いメッセージ

Instagramの生涯学習課公式アカウントでは、けん玉チャレンジやお祝いメッセージ動画を発信。地域のたくさんの方から祝福をいただきました。



多世代によるInstagramでのけん玉チャレンジやお祝いメッセージ動画など、子どもから大人まで、世代を超えて一つの挑戦に取り組み、画面越しではありますが、地域の皆さんの二十歳を祝う想いを発信しました。そこには「若者を応援したい」「一緒にお祝いしたい」というこのまちならではの温かさがあふれていました。

また、式典の準備や進行を支えてくれたたくさんの中高生ボランティアの皆さんにとっても、少し先を歩く二十歳の背中を見つめながら、過ごした時間はきっと意義深い経験となったことでしょう。

二十歳の皆さんには、この先思い通りにいかないことや迷うことがあった時、矢板市で迎えた二十歳の門出を思い出してほしいと思います。失敗を恐れず、けん玉チャレンジのように、何度も何度も挑戦する皆さんを見守ってくれるまちが、ここにはあります。

ふるさと矢板は、いつでもこの場所で皆さんの活躍を応援しています。

やいた、二十歳、おめでとう！

クロストーク 市長 × 二十歳 2026

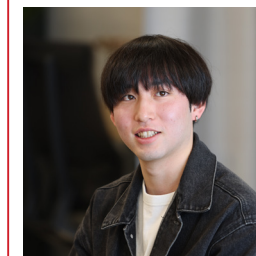
違う道を歩み始めたふるさとの仲間と交わる二十歳のつどい関連事業「クロストーク」。二十歳を迎えた4人の代表が、市長と『今の想い』について語り合いました。



2025.12.6
Cross talk
@SLOW WORK 矢板

自分の将来を考えるきっかけに

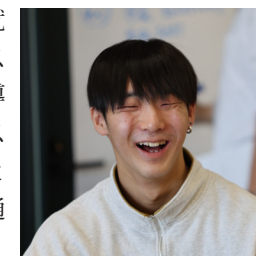
猪瀬雄生



薬剤師に憧れて進路を決めましたが、学ぶにつれ、さまざまな選択肢があることを知り、就職について悩むようになりました。6年制の大学に通っているため、正直、将来についてまだ深く考えたことがありませんでした。二十歳の今、みんなが何を悩み、何を考えているのかを聞いて、将来、自分で決断するタイミングが来た時には、自分の考えだけでなく、周りの状況も関わってくるのだと気づきました。これをきっかけに、将来について考えていきたいと思います。

決断とともに深まった、まちへの愛

スイミングコーチとしてアルバイトをしていて、同じ職場への就職が決まりました。一方で、これまで学んできた「スポーツインストラクター」として、年齢や目的に合わせて運動方法や技術を指導する仕事にも興味があり、進路について迷っていましたが、クロストークで市長やみんなの話を聞いて、自分の決断に自信を持つことができました。もともと矢板市が好きでしたが、クロストークを通じて、その気持ちは“愛している”に変わりました。



金子廉

進路に迷って、見えてきた自分

菊地陽輝



理系科目が好きで理工学部に進学しましたが、その先の進路に興味を持てずにいました。しかし、大学に通いながら塾講師の仕事をする中で、人に教えることや課題を見つけて支援することが好きだと気づきました。大学での勉強に意味がなくなってしまうように感じ、悩んでいましたが、市長の「悩んで自分で決断することで、正解にしようともがける」という言葉を聞き、背中を押してもらえた気がします。矢板市がどんどん良くなっていくのを感じたので、将来は帰ってくるかも…(笑)

うらやましさを、前向きな一歩へ

私は高校卒業後、就職の道を選びました。働き始めてから、周りの友人と比べて自由が少ないと感じるようになりました。友人が華やかな髪色やネイルを楽しんだり、長期休暇を満喫している様子を見ると、うらやましく思うこともあります。今回のクロストークで「与えられた仕事を自分が楽しめるように工夫する」という話を聞き、これまで仕事を淡々とこなしているだけだった自分に気づきました。これからは、仕事の中にやりがいや楽しみを見つけていきたいと思っています。



野澤咲



真剣に悩み、自分で決断し、前に進むその過程にこそ意味があると感じます。20代は、一生懸命考えることも重要ですが、時には180度気持ちを変えてもいいと思います。身軽さを大切に、肩ひじ張らずに挑戦してほしいです。矢板での活躍はもちろん、外で羽ばたく皆さんのことも、心から応援しています。

市長 森島 武芳

クロストーク
市長 × 二十歳
2026

当日の様子は
こちらから

